

予算決算委員会産業建設分科会会議記録
(補正予算審査)

1. 日 時	令和7年9月26日 9時30分開会 令和7年9月26日 11時20分閉会
2. 場 所	議員協議会室
3. 出席議員	荒木礼子座長、隅田雅春副座長、金崎美和委員、渡辺拓道委員、大内正博委員、上田英樹委員
4. 欠席議員	なし
5. 参考人	なし
6. 傍聴人	なし
7. 会議に付した事件	議案第62号 令和7年度丹波篠山市一般会計補正予算（第7号）
8. 議事の経過	<p>開会 9:30</p> <p>【分科会】</p> <p>荒木座長 開会宣告 荒木座長 あいさつ</p> <p>■日程第1 議案第62号 令和7年度丹波篠山市一般会計補正予算（第7号）</p> <p>観光交流部</p> <p>【主な説明】 商工観光課より補正予算書に基づき説明</p> <p>【主な質疑】</p> <p>隅田副座長 今回、1,160万円を温泉地施設整備基金から出すのですが、基金の今の残高はどのくらいあるのでしょうか。</p> <p>観光交流部 現在、約6,000万円ありまして、今回の分を使用後には約4,900万円になります。</p> <p>上田委員 8月に不具合等が生じたということですが、具体的にはどのような状況であったのか。それから、8月に不具合が発生してから1か月ちょっとが経つのですが、今は支障なく稼働しているの</p>

観光交流部

か。不具合が生じた詳しい内容を教えてください。

重油ボイラーが2基ありまして、8月にそのうちの1基が朝に作動しようとしたところ動かなくなりました。ちょうどお盆の時期でしたので、なかなかメーカーと連絡がつかず、お盆明けに点検をしたところ、もうこれは更新が必要であるということが分かりました。現在も何とか作動はしていますが、不完全燃焼をすることもあり、温度が設定温度まで上がり切らない場合があります。今はなんとか1台と、補助的にペレットを使ったバイオマスボイラーで対応していますが、今後、安定的に給湯を行おうとすると、今の状況では厳しいことから今回、更新のお願いをしたところで

上田委員

今回は緊急停止して分かったということなんですけども、日常の点検について、業者に依頼しての点検やメンテナンスをされたり、ボイラー以外の施設や機器等もあると思いますが、その辺はどうなっていますか。

観光交流部

このボイラーのメンテナンスにつきましてはメーカーによる清掃を数年ごとに行っています。日々のメンテナンスについては、ボイラーの技師の資格を持った社員がおりますので、その社員によって日頃の点検を行っています。主にボイラーのすすの清掃といった日常のメンテナンスです。ボイラー以外につきましては、エレベーター、防火設備、水回りなど様々な設備があります。それらについては、専門の資格が必要なものについては、それぞれ指定管理者から外注をして点検をしています。日々の施設の不具合については、社員による目視で点検しており、軽微なものについては、指定管理のリスク分担の基準に基づいて、指定管理者のほうで直していただいています。10万円が基準となっており、それ以上のものにつきましては、市のほうで工事を行うことになっています。

上田委員

なぜこのようなことを聞いたかといいますと、この後、現地踏査があります。それで、このボイラーも平成15年から20年以上が経っているということで、エレベーターとかほかの器具類、配線、配管とか様々なものも含めて、現地調査で大丈夫な状況なのかは確認したくて質問をさせていただきました。

観光交流部

毎年6月は危機管理月間ということで、ぬくもりの郷だけではなくすべての公共施設を担当のほうで、指定管理の場合は聞き取りや現地踏査を行って不具合など確認しています。そのほか指定管

理者から細かなことでも様々な報告が上がってきますので、先ほど申しましたようなリスク分担によって対応はしているんですけども、やはり平成 15 年の設置から 20 年以上経っている施設ということで、水回りのことですから修繕も多くあります。そのため計画的に設備とかの更新の必要性などを聞きとりした上で予算を計上させていただいて対応しているところです。

大内委員

重油ボイラーとバイオマスボイラーがあるとお聞きしましたが、使用割合はどれくらいでしょうか。

観光交流部

使用割合については詳細なデータを持ち合わせていないんですけども、バイオマスボイラーについては容量も小さなものになりますので補助的な熱源として利用しています。メインとしては重油ボイラー 2 基を使用しています。

大内委員

重油ボイラーについては、以前からちょっと調整が難しいということも聞いていたんですけども、今回、更新されることで簡単に調整ができるようになるのでしょうか。そのあたり、指定管理者と協議はされていますか。

観光交流部

機器の更新の内容につきましては指定管理者と相談の上で、メーカーと協議をした上で決定をしております。基本的には現在のものを踏襲したものになるんですけども、やはり 20 数年前のものとは比べますと、熱交換の効率などの性能がアップしておりますので、若干、使い勝手が良くなるのではないかと考えております。

渡辺委員

今の大内委員の質疑に対して、ボイラーの使用割合は分かりませんというよう回答でしたが、機器の能力は把握されていると思いますし、現在使っている重油ボイラー、それからバイオマスボイラーの熱量が何ジュールぐらいあるといったことについてはわかるのではないかと思いますので、また示してもらえたらと思います。あわせて、今回更新しようとしているボイラーについては、能力的には現在と同じものだと思いますけども、先ほど言われた熱交換効率などについて、具体的な性能値などは変わってくるのか、それとも全く同じなのでしょうか。

観光交流部

重油ボイラーとバイオマスボイラーの使用割合につきましては、また指定管理者のほうから聞き取りの上でお示しをさせていただきたいと思います。更新するボイラーについては、基本的な性能は、今、使っているものと同じ出力とメーカーから聞いております。定格出力 581 キロワットのものを更新しようとしています。

(後日、資料の提出あり)

荒木座長

このボイラーに関しては20年使われているということですが、耐用年数を聞かせてください。

観光交流部

給湯用のボイラーにつきましてはメンテナンスや使用状況、使用頻度などによっても変わってきますけども、一般的に10年程度が目安とされています。日頃のメンテナンスのやり方などで、今までもたせてきていただいたというところですよ。

荒木座長

今後の予定について、メーカーに発注してすぐ届くのか。工事やボイラーが止まる期間などを聞かせてください。

観光交流部

受注生産と聞いていますので、仮に、今回の補正予算をご承認頂き、すぐに発注をしましても、大体60日から70日程度かかると言われていますので、工事にかかれるのは来年1月になるかと思えます。また、現在のボイラーの撤去や据付け電気工事、試運転と調整で最長6日程度は給湯の停止期間があると言われていいますので、5日ないし6日の休業が必要になると思えます。

荒木座長

はい、ありがとうございました。ほかに質疑はございませんか。無いようですからこれで質疑を終わります。

この後、こんだ薬師温泉ぬくもりの郷に移動しまして、現地調査を行います。

以上で、ここでの観光交流部に係る審査を終了いたします。観光交流部の皆様、ありがとうございました。

【現地踏査】



ボイラー室内 重油ボイラー



ボイラー室内 配管など



バイオマスボイラー

■日程第2 その他

議員間協議

議案第62号 令和7年度丹波篠山市一般会計補正予算（第7号）

一部長等への確認 なし

市長等への質問 なし

意向確認

議案第62号 令和7年度丹波篠山市一般会計補正予算（第7号）

—全員賛成—

荒木座長

この結果を含め、執行部との質疑、答弁の内容について、座長報告を行いたいと思います。報告については、座長に一任願いたいと思いますがよろしいでしょうか。

—異議なし—

荒木座長 それでは、審査が終了しましたので、閉会に当たりまして隅田副座長より御挨拶をお願いします。

隅田副座長 あいさつ

閉会